

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和元年7月12日

計画の名称	4 街路整備による安全なまちづくり																												
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）			交付団体	三重県、鈴鹿市、津市、伊勢市、熊野市																								
計画の目標	通学路における安全な歩行空間の確保や無電柱化による都市災害の防止及び都市内の良好な景観を形成することで、安全で住みやすく魅力あるまちづくりを目指す。																												
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 街路事業で実施する安全な通学路の整備率を向上させる。 無電柱化の整備割合を0%（H24年度当初）から60%（H28年度末）へ拡大 																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th>中間目標値 (H26末)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付対象事業の内、通学路となる街路の整備率を算出する。 整備率=整備済み事業費/当該路線総事業費</td> <td>15%</td> <td>34%</td> <td>65%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付対象事業の内、無電柱化を図る事業を対象とし、無電柱化全体延長に占める電線共同溝敷設延長割合を算出する。 無電柱化率=無電柱化整備済延長/無電柱化整備延長</td> <td>0%</td> <td>60%</td> <td>60%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	交付対象事業の内、通学路となる街路の整備率を算出する。 整備率=整備済み事業費/当該路線総事業費	15%	34%	65%		交付対象事業の内、無電柱化を図る事業を対象とし、無電柱化全体延長に占める電線共同溝敷設延長割合を算出する。 無電柱化率=無電柱化整備済延長/無電柱化整備延長	0%	60%	60%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)																										
交付対象事業の内、通学路となる街路の整備率を算出する。 整備率=整備済み事業費/当該路線総事業費	15%	34%	65%																										
交付対象事業の内、無電柱化を図る事業を対象とし、無電柱化全体延長に占める電線共同溝敷設延長割合を算出する。 無電柱化率=無電柱化整備済延長/無電柱化整備延長	0%	60%	60%																										
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,297百万円	A	3,297百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%																	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	三重県県土整備部都市政策課において事後評価を実施	交付期間終了後 公表の方法 ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
4-A1	街路	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	(都) 汲川原橋徳田線	改築 L=2.0km	鈴鹿市						1,842	
4-A2	街路	一般	伊勢市	直接	伊勢市	(都) 八日市場高向線(第1工区)	改築 L=0.16km	伊勢市						509	
4-A4	街路	一般	熊野市	直接	熊野市	(都) 西川町獅子岩線	無電柱化 L=0.4km	熊野市						253	
4-A7	街路	一般	伊勢市	直接	伊勢市	(都) 八日市場高向線(第2工区)	改築 L=0.24km	伊勢市						561	
4-A8	街路	一般	伊勢市	直接	伊勢市	(都) 本町大湊線	無電柱化 L=0.2km	伊勢市						8	
4-A9	街路	一般	津市	直接	津市	津駅前北部地区(都)津駅栄町線外3線	改築 無電柱化 A=11.6ha	津市						64	計画11へ移行
4-A10	街路	一般	三重県	直接	三重県	(都) 服部橋新都市線	改築 L=0.6km	伊賀市						60	計画11から移行
合計												3,297			
B 関連社会資本整備事業(該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業(該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和元年7月12日

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・街路整備により、通学路の安全性が向上した。 ・無電柱化事業を進めたことにより、防災機能の強化、市街地の景観が良くなるとともに地域住民や観光客など歩行者の安全性が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（通学路 整備率）	最終目標値	65%	目標値と実績値 に差が出た要因	・要素事業の一部で、用地取得が難航したことにより、当初計画で想定していた事業の進捗に遅れが生じたため。
		最終実績値	50%		
	指標②（無電柱 化率）	最終目標値	60%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	60%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後の方針として未着手区間については早期整備できるように事業進捗を図る。</p>					